

TOPICS

～「おち辰哉」の活動内容をご紹介～
活動速報はホームページをご覧ください。



おち辰哉
公式ホームページ

地域後援会総会 & 村政報告会 (5/31) ▶

年に一度の総会および村政報告会を、東海村産業・情報プラザ(アイヴィル)で開催しました。集まっていたいただいた多くの方々に、直近の活動状況や村政の抱える課題などについて報告し、たくさんのご質問や貴重なご意見をいただきました。



VOICE

～リレーで綴る村民の声～



東海村に移り住んで早14年となりました。わんぱくな息子たちは、3人とも村立保育所でお世話になり、「母と子のサロン」や「ちびっこ集まれ」など村民会議の事業や自治会主催の芋掘り収穫祭、お祭りなどで地域の方との交流を深め、地域の方に見守っていただきながら、小学生になりました。おち議員には、これからも安心して暮らせる東海村の実現に向けた取り組みを、ぜひお願いしたいです。
武田 梨絵さん(白方中央在住)

～第27回参議院議員選挙～



ひらど こうた
平戸 航太 37歳

電機連合組織内公認候補(参議院全国比例区)

おち辰哉も応援しています。



編集後記

先日、小学6年生になった息子が床屋デビューを果たした。これまでの、ネット通販で購入したバリカンとハサミを使い、YouTubeなどの動画を参考にして、見よう見まねで息子のカットを続けてきた。私の腕前も少しは上達したものの、多少雑な仕上がりは毎度のこと。カット代の節約だけでなく、息子とのコミュニケーションもひとつの楽しみであった。そんなある日、「床屋に行って髪切りたい…」と父親カットからの卒業を宣言された。息子が成長した嬉しさと少し寂しい気持ちとが交錯するなか、一緒に近所の床屋に足を運ぶことに。大きな鏡の前で椅子に座った息子、最初は勝手が分からず緊張していた様子だったが、プロの巧みな話術とハサミ使いにより、とても凛々しい仕上がりになった。未っ子長男だけに、何かと口出ししたくなるのだが「依存から自立」へ。寂しい気持ちを抑えながら、上手に子離れしなければと思う。

(す)

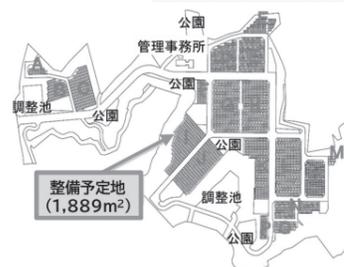
NEWS ～東海村行政の身近なニュースをお伝えします～



合葬式墓地の整備に向けて



▲合葬式墓地のイメージ(八戸市ホームページより引用)



須和間霊園の平面図

近年、少子高齢化・核家族化の進展や墓じまいが増えるなかで、墓地管理の負担を軽減することを目的に、他自治体においても合葬式墓地を整備する動きが活発化しています。本村では、平成7年から須和間霊園を整備・供用開始し、墓地の経営許可等の運営を行ってきましたが、令和5年8月に実施した「お墓に対する意識調査」の結果、改めて合葬式墓地に対する住民ニーズが浮き彫りとなりました。そこで、村では須和間霊園内の未使用区画(1,889㎡)を活用し、一定期間個別埋蔵する納骨室は設けず、遺骨を収納袋に入れて直接カロートへ埋葬する方式により、合葬式墓地を整備する方針をまとめました。この方針に沿って、今議会では関連する実施設計委託料992万円の補正予算を可決、令和8年度から整備工事を進め、令和9年度中の竣工を目指して進めていく予定です。

日頃のご支援に感謝申し上げます。
令和7年度は東海村発足70周年のメインイヤーとなります。
7月には文化センターにおいて記念式典や前日祭、そして8月には久慈川河川敷を会場に記念花火大会などイベントが盛り沢山です。
こうしたイベントを通じて、これまでの70年の村の歴史を大切に繋ぎ、そして新たな村の未来を描けるよう、多くの村民の方々に関わっていただきたいと思ひます。
越智辰哉



平戸航太(37歳)(右)を応援しています!

産業・情報プラザに シェアキッチンを導入



東海村産業・情報プラザ（アイヴィル）

東海村は、創業・出店の意向はあるものの、空き店舗等の物件不足などによりニーズに対応しきれず、また昼間における飲食業・小売業が不足している状況となっています。

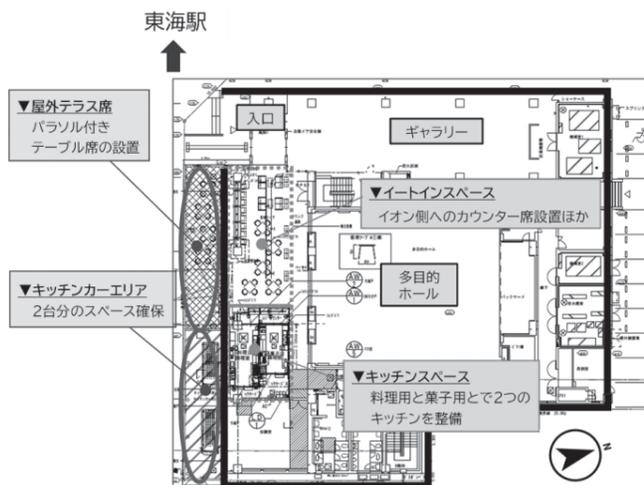
そこで、東海駅前という産業・情報プラザ（アイヴィル）の好立地条件を活かし、新たな賑わいを創出し来村者（交流人口）の増加を図ることを目的として、同施設内にシェアキッチンおよび販売する場を整備する運びとなりました。

合わせて、屋外スペースにパラソル付きのテラス席やキッチンカーエリアを設置し、集客力向上を図る計画です。

短期間で真新しい出店の空間創出により、このエリアに新たな賑わいが生まれることを期待します。

令和7年6月定例会を6月2日から19日までの会期で開きました。

今議会では、駅前の新たな賑わいを創出することを目的として、産業・情報プラザ内にシェアキッチンを導入するための関連条例の改正など全15件の議案について慎重審議し、すべて原案のとおり可決しました。



産業・情報プラザ内のレイアウト概要

東海第二の再稼働は必要 山田村長が4期目の立候補を表明

6月10日の議会一般質問において、山田村長が9月施行予定の東海村長選挙に4期目に向けて立候補する意向を正式に表明しました。

また、東海第二原子力発電所の再稼働について、これまでは「中立」としてきたスタンスから一転、「再稼働は必要」との考えを明確に示しました。

今回の山田村長の発言は、あくまでも政治家個人としての考えを示したものであり、「東海村としての再稼働に対する最終的な判断は、別途成されるものである」との認識を示しました。



東海村長選挙へ立候補を表明した山田村長



越智議員の 一般質問

一般質問とは・・・

住民を代表し、村政全般について村長など執行機関の考えや方針を問い質すものです。



▲録画中継はこちらから



エアコン購入補助の要件緩和を

→ 広く住民に利用いただけるよう検討する。

Q. 令和5年度からスタートした「省エネ家電導入促進事業」におけるエアコンの補助実績はどうか。

A. 想定数に関してはエアコン・冷蔵庫を区分しておらず、令和5年度は想定数300件に対して実績189件（エアコン130件/冷蔵庫59件）、令和6年度は想定数250件に対して実績154件（エアコン78件/冷蔵庫76件）となっている。

Q. この補助事業が2年連続で想定を下回ったが、この要因をどのように分析しているのか。

多段階評価で「4つ星以上」という要件がネックになっていると考えるが、他の自治体で東海村と同様に「4つ星以上」という要件の自治体はあるのか。

A. 議員ご指摘のとおり、「4つ星以上」という高い補助基準が申請件数の伸び悩みの理由であると分析している。また、補助制度を開始した当初は同様の基準を設けている自治体が多く見受けられたが、現時点では「4つ星以上」を求めている自治体はほぼ無い状況である。

今後は、脱炭素化や省エネ意識向上の視点に立って、広く住民に利用していただける制度となるよう検討していく。

子どもや若者たちの「居場所」の 実態を把握すべき

→ 小学生から高校生までを対象としたツールを構築していく。

Q. 部活動の地域移行が進むなか、これまでに以上に「居場所づくり」の必要性が増してくると考えるが、執行部の見解は。

A. 中学生の地域クラブへの加入率は令和6年度末で約30%であり、今後の展開を考えると新たな発想で生徒のニーズに応じた居場所づくりを真剣に検討していかなければならないと考えている。

中学生にとっても、孤独感の軽減や精神的健康の向上、社会的つながりの確保など、成長や社会性を育むうえでも家庭や学校以外の第3の居場所「サードプレイス」は大変重要な要素であると考えている。

Q. 本村の中高生や本村施設を利用する中高生に対して「居場所づくり」に関するアンケート調査を実施し、彼ら彼女らの「居場所」の実態、どういう「居場所」を必要としているかを把握する必要があるのでは。

A. 令和5年4月に施行された子ども基本法第11条により、本村においても子ども・若者が意見を言える場や仕組みづくりに加え、届いた声をしっかりと受け止め、施策に反映させていくことが求められている。

そこで、子ども・若者の率直な声を聴き、想いを受け止める新たな仕組みとして、今年度、主に小学生から高校生までを対象とした「子ども・若者版のオンラインプラットフォーム」の創設に取り組み、これを活用していく。



「居場所づくり」のイメージ

盛岡ユースセンターのホームページより引用